

平成31年度事業計画

晴見保育園

昭和41(1966)年7月	認可開設
昭和60(1985)年4月	増改築
平成29(2017)年5月	外壁塗装
定員80名	

1 基本方針

- (1) 園児の安全と健康を保持し、家庭的な保育環境の中で粘り強く心豊かな子に育てる。
- (2) 地域子育て支援の充実及び定着
- (3) 指導体制強化のため保育力をアップさせるとともに情報の共有化を図る。
- (4) 予算の効率的、かつ適正な執行に努めるとともに、改築に向けての資金積立を計画的に行う。

2 重点目標

- (1) 保育内容の充実
- (2) 地域子育て支援の充実と定着
- (3) 事務の省力化
- (4) 保育環境の計画的な整備

3 実施計画

(1) 保育内容

- ア 特に幼児クラスにおける、朝の「体操」「歌」を確実に実施する。
- イ 近隣の小、中、高、大学の協力を得て、自然に対する興味関心を更に高めていく。
- ウ 食育指導の一環として、自分で作物を栽培、収穫を行うことにより、育て、食べることの喜びを体験させる。また、適宜調理指導を行い、自分で調理することの楽しさを体験させる。
- エ 晴見保育文庫（保護者への図書の出借）を活用し、父母による読み聞かせを通して親子で本に親しむ習慣を作る。
- オ 園外保育を通して四季の移り変わりを体験させ、製作、絵の作成等につなげて豊かな情操を育む。
- カ 隣接する老人施設のお年寄りとの交流を通して人を思いやる気持ちを育てる。

(2) 保健衛生

- ア 感染症予防のため、幼児クラスに加湿器を整備する。
- イ 乳児クラスの衣服の着脱を椅子に座らせて行う等の方法への切り替えや、排

泄が自立していない0，1，2歳児のプール使用の是非について、衛生管理の観点からそれぞれ検討する。

ウ エピペン、吐物処理、救急救命等の技術を確実に身に付ける。

エ ヒヤリハットを活かして事故防止に努める。

(3) 防災と安全対策

ア 様々な場面を想定しての定期的な訓練を実施するほか、専門的な機関と連携しての訓練や法人全体でも総合訓練を行う。

イ クラスごとに定期的に安全点検を行う。

ウ 不審者への対応訓練を引き続き行う。

(4) 地域子育て家庭支援事業

ア リーダーの退職により保育、その他諸々の業務が遅滞する恐れもあり、まずは円滑な運営ができるよう努める。

イ 担当職員が一意団結して運営に当たるよう努める。

ウ 育児講座の中に農業体験なども取り入れる。

エ 育児講座を職員研修の場として公開し、地域子育て支援事業の認識を深める。

(5) 指導體制

ア 各種研修会、他園との交流会、外部専門指導者を招いて保育実践研修を実施し保育力のスキルアップを図る。

イ 特に専門リーダーの業務を明確にし、各「職制階層」ごとの果たすべき役割についての認識を深めさせる。

ウ 産休、育休、短時間就労の職員が増えてきているが、安心して復帰し勤務できるよう「フリー配置」を設けるとともに、そのための職員増員も考慮する。

エ PC端末機を増やし、保育士の事務省力化及び事務時間の確保を図る。